

ボランティアセンターだより



須原小学校児童による活動発表

第4回魚沼市ボランティア大会
H20.11.18 魚沼市地域振興センター

このボランティアセンターだよりは赤い羽根共同募金配分金により作成しております。

第4回 魚沼市ボランティア大会

去る11月18日(火)、魚沼市地域振興センターにおいて、市内のボランティア関係者約300人の参加を得て、『第4回魚沼市ボランティア大会』を開催しました。

午前の活動紹介では、須原小学校、広神中学校、小出高校福祉クラブ「つなゆだ」の3校、ボランティア・NPO法人の5団体から活動の発表がありました。

入広瀬地区の楽舞入広瀬他3つのボランティア団体に所属している浅井美代子さんは「手のひらを太陽に」を手話で披露し、「踊りが人々に広がることで、ボランティアの輪が広がり、様々な人から笑顔と喜びの声をもらいました。私の“頑張る”は“顔晴”です。是非、多くの皆さんにボランティアの輪を広げてもらいたい」と話がありました。

午後からは上越市で生涯学習活動を行っている元頸城中学校長の外ノ池 一さんとのいけ はじめから「生き生きと生きる」をテーマに講演があり、「笑いは最高の良薬であり、笑う門にはボケは来ませんよ」と参加者に呼びかけ、会場は笑いと歓声に包まれました。

参加者からは「総合的な学習で小中学校のボランティア・福祉に対する真剣な取り組みが勉強になった」「外ノ池さんの講演から、ボランティアの更なる活動への活力をもらった」等の感想が寄せられました。



小出高校 福祉クラブ「つなゆだ」の皆さん



広神中学校生徒の皆さん



「御嶽山遊会」川上一男さん



「瀧之谷工芸喫茶ボランティア」矢野暁代さん



「楽舞入広瀬」浅井美代子さん



「NPO法人 魚沼交流ネットワーク」榎井俊幸さん



外ノ池一さんによる基調講演



ボランティアセンターからのお知らせ

活動備品を整備しました!

魚沼市ボランティアセンターでは、各種会議・研修・学習・イベント等に広く活用していただくため、福祉・イベント・障がい者スポーツ等の活動備品を整備しました。

是非、様々な場面で活用いただきたいと思います。

1 対象団体

(1) 町内会・集落等 (2) ボランティアグループ・団体及びNPO法人
(3) 福祉・保健・医療・教育関係機関及び社会福祉施設 (4) その他適当と認めた団体

2 貸出の期間

原則4日間以内(長期のイベントについては別途相談ください)

3 貸出(申込)の方法

利用日の2ヶ月前から受付けます。事前に電話で貸出状況を確認後、「利用申請書」によりお申込みください。

4 使用料

無料(但し、着ぐるみについてはクリーニング代、実費必要です)

5 貸出及び返却

ボランティアセンターの開館時間
午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日・年末年始を除く)に行います。

福祉ビデオ



- 地域でささえる子育て
- 軽度発達障がいのある子供たち
- 21世紀の福祉のまちづくり
- 一人ひとり違う みんなみんな同じ
- 福祉のこころ
- ロールプレイを使った態度の教育
- 福祉基礎研修
- 高齢者を知る
- 自立した小地域福祉組織
- チャレンジ! ボランティア
- ふれあいのまち 支えあいのまち
- ノーマライゼーション
- 介助する人・される人
- みんなちがってみんないい

イベント用品



- 着ぐるみ
(ウサギ・トラ・クマ・パンダ)
- のぼり旗用竿
- 長テーブル
- 折りたたみパイプ椅子
- コインソーター
(硬貨計数機)

スポーツ用品



- 盲人用オセロゲーム
- フロアバレーボール(錦入り)
- ケンコーポッチャセット
- サウンドテーブルテニスセット
(ボール・ラケット)
- ソフトバレーボールセット
(ボール・ネット・支柱)

福祉体験用品



- 耳栓
- 車椅子
- ゴム手袋
- 点字ブロックセット
- 白杖
- 高齢者疑似体験セット
- 点字板セット
- シュミレーションレンズ
(特殊眼鏡)
- アイマスク

その他用品



- デジタルカメラ
- 録音機材一式(声の広報作成用)
- 録画カメラ一式
- DVDプレーヤー(編集可)
- カラオケ一式
- 液晶プロジェクター
- ダビング専用録音機
- スクリーン(80・100型)
- ミシン
- OHP
- CDラジカセ
- 放送機器一式(ワイヤレスマイク付)

ホームページ開設中!

ボランティアセンター・社協事業の紹介をはじめ、ブログ形式によるボランティアの活動報告など内容盛りだくさんです。アクセスをお待ちしています。

ホームページアドレス

<http://www.uonuma-shakyo.or.jp/>





第17回 全国ボランティアフェスティバル にいがた



全国のボランティア関係者らが一堂に会し、情報交換・相互研修・交流等を通じて活動の振興・発展と基盤強化を図る「第17回全国ボランティアフェスティバルにいがた」が、「ボランティア 深まるきずなに トキめいて」を大会テーマに、全国各地から約7,500人の参加を得て、9月20・21日の2日間、新潟市の朱鷺メッセを主会場に開催されました。

1日目は新潟市内の3会場に分かれて5分野22分科会で熱心な討議が行われ、2日目は朱鷺メッセでボランティア推進フォーラムを開催、大会総括などを行い、次回開催の愛媛県へ大会旗を引き継いで2日間にわたる大会の幕を閉じました。

フォーラム内のリレートーク「中越・中越沖地震の経験～感謝・交流・絆～」では、「ボランティア」は「自分自身のためにする」「自分自身が成長する」「できる範囲の力が大切」といった3点が導き出されました。

魚沼市ボランティアセンターでは、県内のボランティア団体による活動紹介や手作り品の実演・疑似体験等が行われた「ふれあい広場」や「分科会」に市内のボランティア関係者42人で参加しましたので皆様の声をお届けします。



大会最終日の「ボランティア推進フォーラム」

参加者の声

参加して思うこと

堀之内地区 矢野幸一

私は「ふれあい広場」の会場へ参加しました。県下各地より様々なボランティア・福祉活動の紹介や、工芸・製品の展示・販売などが賑やかに繰り広げられていました。

いろいろ心引かれるものも多く、何も改まって考えなくても、身近に、いくらでもやれそうな事、お手伝いできる事はあるようです。

そして何よりも「健康」で「楽しく」やる事が大切。そうすれば長続きすると思いました。

「ふれあい広場」を見学して

湯之谷地区 米山堯春

私は「ふれあい広場」に行ってきました。豪雪時のボランティアの活動が写真パネルで紹介され、発泡スチロールによる除雪作業の体験ができる場所がありました。

ふれあい手作り市場では、授産施設利用者の作品の販売もあり、作品の素晴らしさに目を見張りました。このことは、施設利用の方々が自立できるように一生懸命頑張っていることの表れであると痛感しました。

見学をしながらそれぞれの所で声をかけたり、かけられたりしながら有益な情報を得ることができ、有意義な1日でした。

「全国ボランティアフェスティバル」に参加して

小出地区 井口正博

私は精神障がい者の家族会の立場から、「誰かとお話したい、行くところがほしい、人と人とのつながりを求めて」と題した分科会に参加しました。地域における「サロン」は高齢者や障がいを持った人たちが地域で生き生きと暮らしていくための安心や生きがい、張り合いのある生活を作り出すだけでなく、4年前の中越地震や昨年の中越沖地震の際には、仮設住宅でも孤立や孤独を防ぎ、共感の場として大きな役割を果たしています。

全国各地の「ふれあい・いきいきサロン」や「地域の茶の間」の状況を報告し、多様な形態を知り、同時に立ち上げ方、運営・継続の仕方、参加者の過ごし方などの情報交換がありました。

22の分科会が開催されましたが、共通した課題は「地域みんなが生き生きと暮らしていくために」だったと思います。

魚沼市でもいろいろな活動が行われています。今まで地域のボランティアに参加している人も、まだ参加したことのない人も是非参加してみてください。自分のできることをやれば良いのです。

当たらちゃいました！

広神地区 水落恵美子

初めて大きなボランティア大会に参加し、「ふれあい広場」で様々な遊びを体験しました。

折り紙や何十年ぶりに使うクレヨンで塗り絵等、久しぶりに頭と指を使いました。

その中でも雪の重さ当てクイズでは見事優勝し、後日郵送で湯沢温泉宿泊券が届いたのにはビックリしました。

楽しく遊んだり、思わぬプレゼントをいただいた大会でした。

「全国ボランティアフェスティバル」に参加して

守門地区 風間トシ

この度、ボランティアフェスティバルに参加させていただき、楽しい一日を過ごすことができました。

障がいのある人達が一生懸命努力している姿に感動したり、私たちは子供・孫の学力低下を塾等で穴埋めをするのではなく、微力ながらもできるだけの応援をしなければと思い、会場を後にしてきました。

参加できてよかった！

入広瀬地区 浅井和代

私はボランティア体験などを気軽に参加し楽しめるイベント「ふれあい広場」に参加しました。

福祉施設の市場、体験やチャレンジ広場等、広い会場一杯の出展でビックリしました。

特に福祉施設市場では入所者が作品づくりに懸命に取り組んだことを想ったり、接客している姿に関心したりと胸が熱くなりました。

何を買おうか？とアレもコレもと沢山買ってきました。



大勢の来場者で賑わった「ふれあい広場」

